

2022年度 研修会報告

<総会后特別研修会>

日 時 2022年5月29日(日) 総会終了後
演 題 「災害と歯科医療のかかわりについて」
講 師 山下 千穂 先生(和歌山県歯科衛生士会 会長)



日衛災害歯科保健歯科衛生士フォーラムの報告と、昨年度の災害関連研修会の講演動画により、災害関連死や避難所における歯科の役割を再確認しました。

<第1回生涯研修会>

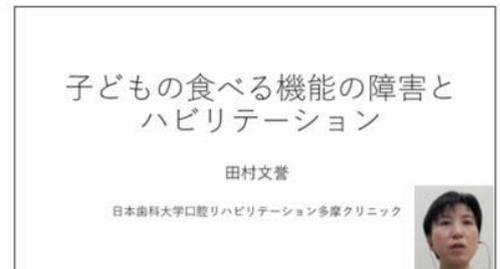
日 時 2022年9月11日(日) 13:00~15:00
演 題 「歯科衛生士が知っておきたい口腔腫瘍と術後リハビリテーション」
講 師 松村 達志 先生(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座 教授)



口腔腫瘍治療に関する具体的な治療と対策について、たくさんの症例や写真を交えて丁寧に分かりやすく説明していただきました。口腔は咀嚼、嚥下、構音という重要な機能を持っているため口腔がんの治療にあたっては、機能を温存し治療後の機能障害を最小限に押さえることが重要だと学びました。

<第2回生涯研修会>

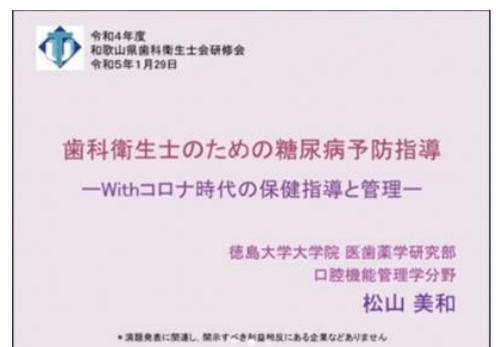
日 時 2022年11月13日(日) 13:00~16:00
演 題 「子どもの食べる機能の障害とハビリテーション」
講 師 田村文誉先生
(日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
口腔リハビリテーション科 科長教授)



一般歯科医院でも、摂食障害や口腔習癖を主訴に来院する患者はほとんどいませんが、術者側がその兆候に気がつくことが重要です。今回の研修で、正常な発達過程を知り、摂食機能障害に対応する目を養えたのではないかと思います。歯科診療において妨げになるような「感覚過敏の問題」にも対応のヒントを紹介していただきました。

<第3回生涯研修会>

日 時 2023年1月29日(日) 13:00~16:00
演 題 「歯科衛生士のための糖尿病予防指導 —Withコロナ時代の保健指導と管理—」
講 師 松山美和先生
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔機能管理学分野 教授
徳島大学歯学部 副学部長・口腔保健学科長



歯周病は糖尿病のリスク因子であることが医学的に検証されており、歯科衛生士による糖尿病予防指導が期待されています。口腔の歯周病による微小炎症を見逃さず、適切な口腔健康管理を行うことで、糖尿病予防に繋がる事を再認識しました。

<病院歯科衛生士研修会>

日時 2022年7月2日(土) 15:00~17:00

演題 「歯科診療時のポジショニングについて」

講師 北出 貴則 先生(誠佑記念病院 理学療法士)



安楽、安心なポジショニング、移乗のポイント、呼吸、咳、排痰の介助ポイント等、一例ずつ色々なアイテムを用いて指導下さいました。移乗に関しても、良い例と悪い例を比較しながら、分かりやすく説明下さいました。車椅子の機能により介助方法が大きく変わる事を学びました。必要最小限の介助で済むようにし、患者さんに安心感を与えられるようにしたいと思います。

2022年度 勉強会報告

<口腔機能管理研究会 ベーシックコース>

2022年7月30日(土) 15:00~18:00

講演①「介護保険における口腔健康管理の実際～口腔機能向上加算について～」

講師 加藤 恭子 先生(在宅療養指導・口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション認定歯科衛生士)

講演②「専門的口腔ケアのための基本～全身と口腔の関連を知り手技を学ぼう～」

講師 麻生 万裕美 先生(摂食嚥下リハビリテーション、研修指導者・臨床実地指導者認定歯科衛生士)

講演①では介護保険に関する新しい情報、実務内容をお話しいただき、利用者さんとの関わり方や、多職種の方との連携の取り方を学べてとても勉強になりました。

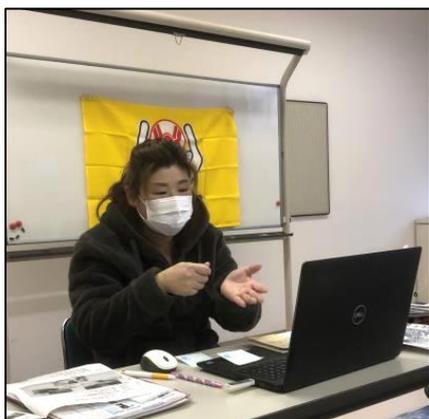
講演②では全身疾患の基礎知識、口腔状況とその評価方法、専門的口腔ケアの基本、症状に対応した専門的口腔ケアの手技などについて幅広く講演いただきました。



<口腔機能管理研究会 アドバンスコース>

2022年12月17日(土) 15:00~17:00

演題 「食べられる口づくりのために～誤嚥を防ぐ～」 講師 野村 カオル 先生



高齢者や軽度な嚥下障害のある方への食事方法のポイントを学びました。誤嚥のリスクが高い人に対しては、液体に「とろみ」をつけると良いということで、色々な「とろみ調整食品」の特徴を紹介いただきました。嚥下障害のある方と関わる際は『その方の嚥下状態をしっかりと把握して誠心誠意向き合う事が大事である。小さい事ほど丁寧に！当たり前の事ほど真剣にする事を心がけ、安全 安心な医療の充実と信頼関係の構築につながる』と、熱い思いを語って下さいました。

<口腔機能管理研究会 マスターコース>

2022年8月20日(土) 15:00~17:00

演題「口腔ケアから咽頭ケアへ」講師 小室恵子先生、野村カオル先生

前半は、喀痰に必要な基礎知識、感染対策、手順、注意事項を確認後、吸引シユミレーター“Qちゃん”を使って喀痰吸引実習を行いました。

後半は 咽頭ケアの注意点、手順、コツを学んだ後、“ふあんふあんブラシ”を使って咽頭ケア実習を行いました。参加者の方々は熱心に受講し、積極的に実習を行っていました。とても有意義な勉強会になりました。



<診療所歯科衛生士研究会>

2022年6月11日(土) 15:00~17:00

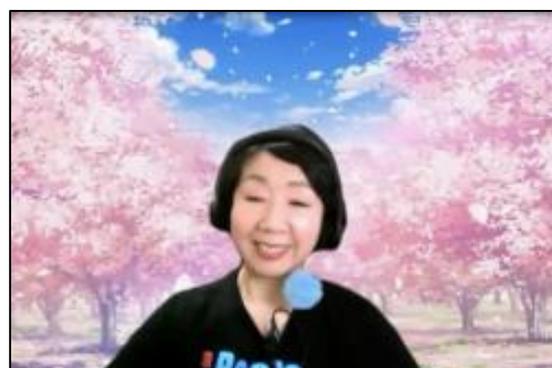
「知って使おう超音波スケーラーの基礎知識」吉田 俊香 先生



超音波スケーラーの基礎知識をはじめ、スケーリングテクニックのコツや、痛いと思わせないためのポイント、時間内に終わらせるためのポイント等、色々な情報を教えて下さいました。また、実際のスケーリング動画をたくさん見せていただき、正しい操作の確認や、姿勢についても説明いただきました。普段、他の歯科衛生士の方の施術を見る機会がないので、正しい施術の再確認が出来てとても良かったです。

2023年3月11日(土) 15:00~17:00

「インプラントの基礎知識とメンテナンス」吉田 俊香 先生



インプラントメンテナンスの目標は「インプラントが良好な状態で維持され口腔内で機能すること」であり、「インプラント治療完了はスタートである」という言葉がとても印象に残りました。治療完了後からのメンテナンスが重要であることを歯科衛生士が理解し、患者さんにしっかりと伝える事が大切である事がよくわかりました。インプラントを長期間使用するために「インプラント周囲炎を見逃さないためのポイント」を頭に入れて、日々の診療で活かしていきたいと思えます。

<口腔機能管理・診療所歯科衛生士研究会合同勉強会>

2022年10月15日(土) 15:00~17:30 WEB・オンデマンド研修

講演①「日常生活や診療所で気付く口腔機能低下症」講師 吉田 俊香 先生

講演②「口腔機能低下にどう気付くか？」講師 小室 恵子 先生



歯科衛生士は、患者さんのオーラルフレイルに早く気づき、その原因が何であるか判断し、改善の為にアプローチを行います。気づきのポイントと原因について学びました。

口腔機能低下を評価する各種検査方法、必要書類について、トレーニング方法などを学びました。

最後にお2人の講師が対談しながら「オーラルフレイル対策のための口腔体操」の効能やチェックポイントを指導下さいました。患者さんの何気ない行動から、オーラルフレイルに気づき、その方に合ったアプローチを行っていきたいと思います。

<歯科技工士会・歯科衛生士会 合同研修会>

2022年11月27日(日) 10:00~15:00

講演① 歯科衛生士が歯科技工士と共有したい歯周基本治療 和歌山県歯科衛生士会監事 吉田 俊香 先生

講演② 補綴物制作時、歯科衛生士と共有したい事項 和歌山県歯科技工士会会長 橘 勝一 先生

講演③ 実際に行っている連携したい作業内容 和歌山県歯科技工士会理事 岡本 貴富 先生

講演④ ディスカッション



参加した歯科衛生士からは、技工士さん側からの意見要望が具体的に分かった。私たちは印象し技工指示書を出せば出来上がるものと考えていましたが、協業が必要だ！と思った。また、長年業務に携わりながら知らなかったこと、実施できていなかったことがあり衝撃的であった。など、たくさんの感想も寄せられました。やはり患者さんのことを考えて行う歯科治療は、直接関わる歯科医師・歯科衛生士だけでなく、歯科技工士もチームの一員としてしっかりと共有連携が重要なポイントであることが分かった1日でした。